

學名 *Aphrophora costalis* Mats.

あわふきむし科

體は黄褐色、少しく暗色を帯びて居る。前翅は前縁と先の方は灰黄色、その他は暗色である。

體長十二耗内外。北海道・本州等に産し、柳に棲む。

39 クロスチアワフキ (第一四圖版1)

學名 *Aphrophora vitata* Mats.

あわふきむし科

體は灰黄色、前翅の中央に不規則な黒褐色の斑紋

がある。これは色々變化が多く、中には可成り淡いものもある。

體長十二耗内外。北海道・本州等に産し種々な植物に多い。

40 マダラアワフキ (第一四圖版3)

學名 *Jembrana nawae* Mats.

あわふきむし科

體は淡い褐色で、不規則な雲形の黒褐紋がある。

前胸背の中央には細い隆起線があり、その兩側にも縦に突出した線があるが、中央のもの程明瞭ではな



い。

體の裏面は大部分黒褐色であるが、胸の中央部に淡黄褐紋がある。

體長十耗内外。本州・九州等の山地に産するが少い。

41 コミヤマアワフキ (第一五圖版11)

學名 *Peuceptylus medius* Mats.

あわふきむし科

マダラアワフキに似て居るが小形で、頭部と前胸背の前半部とは淡黄褐色、その他は灰褐色で黒褐紋

がある。體の下面は黒褐色で淡色の部分がある。

體長八耗内外、各地の山地で獲られる。

42 ミヤマアワフキ (第一六圖版13)

學名 *Peuceptylus nigroscutellatus* Mats.

あわふきむし科

これは前種に似た小形のアワフキである。頭部と胸部とは暗黄褐色、前翅は黄褐色で、疊む時は中央に暗褐色の富士山形の大紋が出来る。

體長七耗位。本州・九州等に産し、山地に多い。

43 マルアワフキ (第一五圖版4)



學名 *Lepyronia coleoptrata* Linn.

あわふきむし科

體は圓形で、甲蟲に似た形をして居る。頭部及び前胸背は淡黄灰色の地に暗褐色の紋があり、前翅は同様の暗色に暗褐又は黒褐色の大きな紋がある。然し紋の大小、色等には變化が多い。

體長八耗内外。北海道・本州の山地等に普通のもで、禾本科植物の雑草に獲られる。外國ではヨーロッパ・シベリア・中アジア・北アメリカ等にも産する。

41 オカダアワフキ (第一五圖版6)

學名 *Euclovia okadae* Mats.

あわふきむし科

前種に似て居るが少しく細形で、翅の先が尖つて居る。色は總體に淡い黄灰色、翅を疊む時には前翅の前方に八字形、下方にV形の暗褐色紋が出来る。體の裏面及び肢は黒褐色である。

體長七耗内外。本州・九州等に産するが尠い。私は二十年程前々々木練兵場の裏で可成採集したことがあるが、最近では採つたことがない。禾本科植物



の雑草中に棲む。

45 サウウンアワフキ (第一五圖版5)

學名 *Mesoptylus nigrifrons* Mats.

あわふきむし科

頭部及び胸部は橙色、前翅は暗褐色で、中央に細いクリム色の帯があり、前翅の基部と、先の方にも同じ色の斑紋がある。

體長七糎半。本州の山地に産する。これは箱根早雲山だけが産地になつて居たが私は富士山太郎坊で澤山採集した。ハンノキに多い。

46 ホソアワフキ (第一五圖版9)

學名 *Philaenus spumarius* Linn.

あわふきむし科

此のアワフキには斑紋のあるもの、全く斑紋の無いもの等色々ある。寫真は一樣に黄褐色の種類で、全く斑紋のない型である。斑紋の無い型はハマベアワフキに似て居るが、前胸背の中央に隆起した細い線が無いから區別することが出来る。

體長七糎内外。樺太・北海道・本州の山地・朝鮮等に産する。



47 ミミツク (第一七圖版1)

學名 *Ledra auditura* Walk.

みみづく科

體は灰色を帯びた暗褐色で、櫟の皮の色によく似てゐる。頭部は前方に扁たく出張つて居り、前胸背の兩側に耳の様な突起がある。これは、雄では低く、雌のは大形で前方に向いて居る。

前翅は半透明、翅脈は網目形に出張つて居る。

體長十八耗内外。本州・九州・朝鮮・臺灣・滿洲・

支那等に産し、種々な濶葉樹に多い。

48 コミミツク (第一七圖版2)

學名 *Ledropsis discolor* Uhl.

みみづく科

體は細く、頭部はミミツク同様扁いが長く前方に延びて居る。暗褐色で、翅を疊む時は八字形の灰褐色紋が現はれる。

體長十三耗内外。本州・四國・九州等に産し、櫟

等の植物に棲む。

49 ホシコミミツク (第一七圖版3)



學名 *Ledropsis wakabae* Kato

みみづく科

これは著者が京都で初めて発見したもので、コミミヅクに似て居るが頭部は幅廣く前方に突出し、體は赤味を帯び、前翅は淡褐色、基部は淡綠色で暗褐色の小點を散布して居る。

體長十三耗内外。

50 ツマダクロオホヨコバイ (第四圖版4)

學名 *Cicadella ferruginea* Fab. var. *apicalis* Walk.

おほよこばい科

大形のヨコバイで、生きて居る時は黄綠色であるが、死後は橙色になる。頭部の前端に一個、單眼の間、前胸背に三形に三個、稜狀部に一個の圓い黒紋がある。前翅は黄綠色で、その先端は黒く後翅は一樣に黒色不透明である。肢は黄綠色、腿節と脛節の先の方及び爪は黒色である。

體長一三耗内外、本州・四國・九州・朝鮮・琉球

臺灣・支那・ペルシャ・インド、馬來群島等に産する。然し臺灣から後のものは日本のものと幾分違つて居る。桑・イチヂク其他種々の植物に普通で、冬



でも採集することが出来る。

51 オホヨコバイ (第一七圖版5)

學名 *Cicadella viridis* Linn.

おほよこばい科

體は綠色、體の裏面及び肢は淡黄色、頭部と前胸背の前縁が淡黄色のものもある。單眼の間に二個の小黒點がある。

體長八耗内外、北海道より朝鮮・臺灣に至る各地滿洲・支那・ヨーロッパ・シベリア等に産する。禾本科植物の雜草中に多い。

52 クハキヨコバイ (第一七圖版11)

學名 *Epiacanthus guttiger* Uhl.

おほよこばい科

生きて居る時は淡い黄綠色、死ぬと黄色くなる。體は一樣に同様の色で、多少光澤があり、頭部に三個の黒點を備へて居る。

體長九耗内外、北海道・本州・九州等に普通である

53 キスチカナムリヨコバイ (第四圖版5)

學名 *Euaecanthus interruptus* Linn.

おほよこばい科



體は光澤のある黒色、翅を疊む時は中央に橙色の線を現はす。前翅の前縁は灰白色、肢は橙色。

これは非常に變化が多く、第一七圖版8は一様に淡黄白色で、胸部は黒褐色、前翅には寫真に見る様な暗色紋がある。

體長七耗内外。北海道・本州の山地・シベリア・ヨロツバ等に産する。

54 マヘジロオホヨコバイ (第一七圖版4)

學名 *Cicadella albomarginata* Sign.

おほよこばい科

體は青色を帯びた黒色、頭部、前胸背の前縁、稜状部、前翅の前縁、肢等は淡黄色である。中には右の淡黄色の部分が綠色を帯びたものもある。これにも多少の變化がある。

體長六耗半内外。日本全國・シベリア・支那・馬來・オーストラリア等に産し、雜草間に普通である。

55 シロツオホヨコバイ (第一七圖版9・10)

學名 *Oniella leucocephala* Mats.

おほよこばい科

寫眞の10は雄である。これは體は淡黄色、前胸か



ら前翅へかけて黒褐色の紋を具へて居る。

♀は雌で、雄よりも形大きく、黒紋は色淡く（中には淡褐色のものもある）、幅が狭くて翅の先は橙色二個の小黒點がある。

體長六耗内外。北海道・本州・九州等に産し、山地のアザミに多い。

56 ヨモキシロテンヨコバイ (第一七圖版6)

學名 *Mileeva margheritae* Dist.

おほよこばい科

小形、黒色のヨコバイである。體翅共に黒色、體

の裏面と肢は黄白色、稜状部は黄白色、前翅を疊む時は中央に大きな灰白紋を現はす。山地の菊科植物に多い。

體長六耗内外。全國に産する。

57 クロヒラタヨコバイ (第一七圖版7)

學名 *Penthimia nitida* Leht.

おほよこばい科

體は黒色で光澤があり、平たい。黄白色の細かい斑紋がある。

體長四耗半内外。本州・九州・臺灣・シベリア等に



産する。

58 フチミヤクヨコバイ (第四圖版6)

學名 *Drabescus nigrofemoratus* Mats.

ひらたよこばい科

頭部の幅の廣い大形のヨコバイである。體は少しく綠色を帯びた暗黄色、頭部の前縁に一本の黒線がある。前翅は乳白色で半透明、褐色の二本の帯を待つて居り、翅の先は黒褐色、脈は褐色と白との斑になつて居る。櫟、樅等に獲られるが少い。

體長七耗半内外。本州・四國・九州等に産する。

59 ナグマフチミヤクヨコバイ (第一八圖版7)

學名 *Drabescus ogumae* Mats.

ひらたよこばい科

フチミヤクヨコバイよりも大形で黒褐色、前胸背及び稜状部は中央幅廣く黄褐色。翅は半透明、四個の不明瞭な黄色い横帯がある。翅脈は前の種類程明かな斑になつて居ない。

體長一〇耗内外、本州に産し、桑を害する。

60 ウスフチミヤクヨコバイ (第一八圖版8)

學名 *Drabescus pallidus* Mats.



ひらたよこばい科

體は黄綠色、翅は淡褐色、半透明、肢も黄綠色の美しい種類である。山地の櫟等で獲られるが尠い。體長九耗内外。本州に産する。

61 サジヨコバイ (第一八圖版4)

學名 *Hecalus prasinus* Mats.

ひらたよこばい科

體は一樣に淡綠色、頭部は扁たく前方に突出して居る。雌雄共に翅が短かく、雌では寫眞の様に腹の先が長く出て居る。

ひらたよこばい科

體長六・七耗。本州・九州等に産し、禾本科植物の雑草中に普通である。

62 フクロクヨコバイ (第一八圖版3)

學名 *Hecalus fukuruki* Mats.

大形、黄褐色のヨコバイである。頭部は甚だ長く突出し、恰度福緑神の頭の様な處からフクロクヨコバイと云ふ。

體長一四耗内外。禾本科植物の雑草中に棲むも尠い。本州・九州等に産する。



63 ホシサジヨコバイ (第一八圖版6)

學名 *Parabolopoma guttata* Uhl.

ひらたよこばい科

體長く、後方は細く尖つて居る。體は強い綠色、

前翅の合せ目に三個の黒點がある。

體長七耗内外。本州・四國・九州・臺灣等に産し、

樟科植物に棲む。東京では夜室内に飛び込んで來ることが多い。

64 クロサジヨコバイ (第一八圖版1)

學名 *Acocephalus nigricans* Mats.

ひらたよこばい科

體は黒褐色で幅廣く、頭部は少しく平たくて前方に突き出て居る。翅は幅が廣くて短かい。

體長七耗内外。本州・九州等に産する。

65 シマサジヨコバイ (第一八圖版2)

學名 *Acocephalus guttatus* Mats.

ひらたよこばい科

前種に似たヨコバイであるが、前胸背の中央に一本、前翅を横斷する二本の夫々淡い黄褐色の帯がある。



體長六耗内外。北海道・本州・九州等に産する。

66 ヤノウトガリヨコバイ (第一六圖版2)

學名 *Deltocephalus yanonis* Mats.

よこばい科

體は黄褐色、前胸背には四本灰黄色の縦紋がある  
中には翅に褐色の紋のあるものもある。頭は三角形  
に突出し、翅は短かい。

體長三耗半内外。本州・四國・九州等に産し、山  
地の禾本科植物の草原に多い。

67 ヨツテンヨコバイ (第一六圖版3)

學名 *Cicadula masatoris* Mats.

よこばい科

體は淡い黄綠色、頭部に四個の黒點が四角形に並  
んで居る。翅は半透明である。

體長二耗半内外。北海道・本州・四國・九州・朝鮮  
等に産し、稻を害する。

68 ツマガロヨコバイ (第一六圖版4)

學名 *Nephotettix bipunctatus* Fab.

var. *cinchiceps* Uhl.

よこばい科



體は綠色、頭部の前方に一本の黒い横線がある。前翅は不透明で、雄は先が黒いが雌は黒くない。肢は黄綠色である。

體長五糎内外。本州・四國・九州・朝鮮・琉球・臺灣等に産し、有名な稻の害虫である。小學理科教科書にミドリウンカと云ふのがある。それはツマグロヨコバイのことで、ミドリウンカと云ふのは間違ひである。

69 イネマダラヨコバイ (第一六圖版1)

學名 *Deltocephalus oryzae* Mats.

よこばい科

體は黄褐色、頭部は三角形に突出し、白色の紋がある。翅は長く翅脈に沿ふて褐色の紋がある。

體長三糎半内外。北海道・本州・四國・九州に産し稻を害する。

70 フトヨコバイ (第一九圖版1)

學名 *Atygnanus vittatus* Uhl.

よこばい科

體は太く、體と翅は淡い黄褐色、頭部に淡褐色の横條がある。前翅は半透明。



體長七耗内外。北海道・本州等に産し、荒地に多い。

71 クロスチヒロヨコバイ (第一九圖版2)

學名 *Athysanus limbifer* Mats.

よこばい科

前種に似て居るが、頭部の前縁に二個、頭部に一本の黒い横線がある。前翅は中央部黒色で前縁は淡黄褐色である。

體長七耗内外。本州に産するが少い。

72 イチモンジヨコバイ (第一九圖版3)

學名 *Fuscis striola* Fall.

よこばい科

體は黄褐色、頭頂の中央に一の字形の黒紋がある。前翅は半透明、少しく暗褐色の斑紋がある。

第一九圖版4は同じ種類であるが色は一様に淡い麥藁色である。

體長六耗内外。北海道・本州・九州・ヨーロッパ・

北アフリカ・コーカサス・シベリア・北アメリカ等に産する普通種で夜室内に飛び込んで來ることがある。



73 シラホシスカシヨコバイ (第一九圖版5)  
學名 *Scaphoidens festus* Mats.

よこばい科

美しいヨコバイである。頭部は黄白色で中央に幅の  
廣い黄褐色の横帯があり、前胸背は淡い黄褐色、中  
央に幅の廣い黄褐色の横帯がある。前翅は黄褐色で  
半透明、青白色と黒褐色の斑紋がある。

體長六耗内外。北海道・本州・九州・朝鮮・臺灣・  
滿洲・南支那・セイロン等に産する。

74 イナツマヨコバイ (第一九圖版8)

學名 *Deltocephalus dorsalis* Mats.

よこばい科

體は淡黄白色、淡い褐色の紋がある。翅は淡黄色  
で、幅の廣い電光形の斑紋がある。體の裏面は淡黄  
色で、黒褐色の斑紋を持つてゐる。

體長四耗半内外あり、本州・四國・九州・臺灣等  
に産する。ツマガロヨコバイ同様稻の害虫である。

75 ヒロツマダラヨコバイ (第一九圖版6)

學名 *Deltocephalus latifrons* Mats.

よこばい科



體は暗褐色、暗褐の斑紋がある。翅は暗褐色で、暗褐色の斑紋が多い。大體にイナヅマヨコバイに似て居るが大形で電光形の斑紋の代りに暗褐色の斑がある。

體長六耗内外。本州に産する。

76 ヒシモンヨコバイ (第一九圖版7)

學名 *Eutettix disciguttus* Walk.

よこばい科

體は黄綠色で、細かい褐色の斑點がある。頭部は黄色複眼は暗綠色で、顔は一樣に黄色い。前翅は灰

白色で、合せ目に大きな菱形の褐色紋が現はれる。

體長四耗半内外。北海道・本州・九州・朝鮮・琉球臺灣・支那・インド・セイロン・馬來群島・東アフリカ等に産し、種々の灌木に棲む。

77 ヒトツメヨコバイ (第一九圖版9)

學名 *Tamnotettix cyclops* Muls. et Rey.

よこばい科

體は一樣に淡い黄褐色で、頭頂の後縁に大きな黒色の紋がある。複眼は黒褐色で、顔は一樣に淡い黄褐色、頬の處に黒紋がある。前翅は淡黄褐色、半透明



で斑紋は無い。

體長五耗内外。北海道・本州・九州・屋久島・朝鮮・南ヨロロッパ・シベリア等に産する。

78 クサビヨコバイ (第一九圖版10)

學名 *Athybanopsis salicis* Mats.

よこばい科

體及び前翅は黄綠色、頭部に二個の小黒紋を横に並べ、前胸の前縁近くに八個の小紋を八字形に具へて居る。稜状部は黄色で、大形の黒紋二個を、その間に同じ色の小點二個を横並べに具へて居る。

體長六耗内外。本州・滿洲等に産するが少い。

79 アミメヨコバイ (第一九圖版11)

學名 *Jassus praeusul* Horv.

よこばい科

大形のヨコバイで、體と翅とは黄褐色、頭部は黄色前翅は黄褐色で淡い灰色の網目の様な斑紋がある。體の下面と肢とは一樣に淡褐色である。體長九耗内外。北海道・本州・九州・朝鮮・滿洲等に産する。

80 トガリヨコバイ (第一九圖版12)



學名 *Acomura producta* Mats.

よこばい科

體は一様に淡褐色。頭部は前方に圓錐形に尖り、  
複眼は黒褐色。前翅は淡褐色で殆んど透明である。寫  
眞は雌を示したもので、腹部の先は長く翅の先から  
出て居る。

體長四耗半内外。本州・九州・屋久島・臺灣等に  
産し雜草中に棲む。

81 オホトガリヨコバイ (第一九圖版13)

學名 *Acomura grandis* Mats.

よこばい科

前種に似て居るが大形で、色は幾分黒味を帯びて  
居る。頭部は圓錐形に出張つて居り、前翅は淡い暗  
褐色で半透明、翅脈は白色である。雌は前種同様腹  
部が長く翅の先から出て居る。

體長五耗——六耗半内外。本州・九州・小笠原・臺  
灣等に産する。

82 ミスチドガリヨコバイ (第一九圖版14)

學名 *Platymetopius cinctus* Mats.

よこばい科



體は淡褐色、幾分綠色を帯び、頭部は三角形に突出して居る。前翅は乳灰色半透明で、疊んだ時には三本の淡褐色横線を現はす。體の下面は雌雄に依て異り、雄は黒色、雌は淡黄色の地に黒紋がある。體長五耗内外。北海道・本州・九州等に産し、イタヤの樹で採集出来る。

83 シロセスチヨコバイ (第一九圖版15)

學名 *Scaphoidens alboittatus* Mats.

よこばい科

體は黄褐色、頭部から前翅の合せ目にかけて幅廣

い白色の部分があり、その部分の兩側に、頭部に四個の黒紋、前胸背に四個、稜狀部に二個、前翅に數個の黒褐紋がある。體の下面及び肢は黄白色である。體長五耗半内外。本州・九州・朝鮮・臺灣等に産するが尠い。

84 アヲツキンヨコバイ (第一八圖版5)

學名 *Macropsis mundus* Uhl.

つぎんよこばい科

體は幅廣く圓形で、一樣に淡い綠色、複眼は小さく淡褐色である。前胸背は幅廣く、表面に細かい横



體は淡褐色、幾分綠色を帯び、頭部は三角形に突出して居る。前翅は乳灰色半透明で、疊んだ時には三本の淡褐色横線を現はす。體の下面は雌雄に依て異り、雄は黒色、雌は淡黄色の地に黒紋がある。體長五耗内外。北海道・本州・九州等に産し、イタヤの樹で採集出来る。

83 シロセスチヨコバイ (第一九圖版15)  
 學名 *Scaphoidens alboittatus* Mats.

よこばい科

體は黄褐色、頭部から前翅の合せ目にかけて幅廣

い白色の部分があり、その部分の兩側に、頭部に四個の黒紋、前胸背に四個、稜狀部に二個、前翅に數個の黒褐紋がある。體の下面及び肢は黄白色である。體長五耗半内外。本州・九州・朝鮮・臺灣等に産するが尠い。

84 アヲツキンヨコバイ (第一八圖版5)  
 學名 *Macropsis mundus* Uhl.  
 つぎんよこばい科

體は幅廣く圓形で、一樣に淡い綠色、複眼は小さく淡褐色である。前胸背は幅廣く、表面に細かい横



皺がある。前翅は淡い灰白色で半透明、翅脈は緑色であるが、一様に緑色に見える。體の下面及び肢も一様に淡緑色であるが、幾分黄色を帯びるものもある。

體長七耗内外。

北海道・本州・九州・朝鮮等に産し、禾本科植物の多い草原に普通である。

85 セグロアツキンヨコバイ (第一八圖版14)

學名 *Macropsis dorsalis* Mats.

づきんよこばい科

前種に似てゐるが少しく大形で、緑色の部分が濃

く、前胸背は後方になるに従つて褐色となり、稜状部は一様に褐色である。前翅の先の方にも褐色の部分がある。體の下面は淡黄緑色である。

體長七耗半内外。北海道・本州・九州等の山地に

産するが少い。

86 フタオビハトムネヨコバイ (第一八圖版9)

學名 *Pediopsis bifasciata* Mats.

づきんよこばい科

體は黄褐色、頭部は短く前方に八形に出てゐる。

前翅は灰白色で褐色の二本の帯がある。



體長四耗半内外。本州・四國・九州等に産し、穀斗科植物に棲む。

87 ツキンヨコバイ (第一八圖版10)

學名 *Idiocerus vitticollis* Mats.

づきんよこばい科

頭部は幅廣く、丁度頭巾をかぶつた様な形をしてゐるので此の名がある。體は淡褐色、頭部は黄色、頭に二個の黒紋を具へ、稜状部には基部に黒色の二紋がある。前翅は淡褐色で半透明、翅脈は大部分褐色であるが、先の方に白色の部分がある。

體長七耗内外。北海道・本州等に産し、柳・ハンノキ等に棲む。

88 シロツキンヨコバイ (第一八圖版11)

學名 *Idiocerus ishigamae* Mats.

づきんよこばい科

體は全體に黄白色、頭部は甚だ大きく、複眼も亦大形で黒褐色。前翅も同様の色彩で斑紋はない。體長七耗内外。北海道・本州等に産する。

89 モンキヒロツヨコバイ (第一八圖版12)

學名 *Oncopsis mali* Mats.



づきんよこばい科

體は栗色、頭部及び前胸背の前方は黄色、複眼は黒褐色である。前翅も同様の色であるが、基部の處は黄色又は黄綠色。體の裏面と肢とは黒褐色である。體長六耗内外。本州・九州等に産し、リンゴの樹を害することがあると云ふ。

90 シダヒロツヨコバイ (第一八圖版13)

學名 *Agallia pteroides* Mats.

づきんよこばい科

頭部は幅廣く、三角形に前方に突出してゐるが甚

だ短い。體は黒褐色、頭部は黄色で、中央に三個の黒紋がある、その内中央のものは細い。前胸背は後縁のみ黄色。前翅は黒褐色であるが翅脈とその兩側は淡い褐色である。

體長五耗内外。北海道・本州・九州等の山地に産

する。

91 ミドリヒメヨコバイ (第一六圖版6)

學名 *Onorita flavescens* Fabr.

ひめよこばい科

體は細く、一様に淡綠色、光澤がある。複眼は大



きくて灰褐色、前翅は少しく黄色を帯びて半透明、先の方は幾分橙色である。

體長三耗内外。殆ど全世界に産し、種々な植物に普通である。

92 オビヒメヨコバイ (第一六圖版5)

學名 *Erythria zonata* Mats.

ひめよこばい科

體は平たく淡黄色で、前翅の幅は廣い。前翅の中央には帶の様な斑紋があるが、その形は色々で、細い黒い帯になつて居るものや、寫眞の様に菱形のものもある。

のもある。寫眞は褐色の紋を有する型で、學名を

*Erythria zonata* Mats. form. *lata* Mats. と云ふ。此の類は種々な灌木に多く、冬でも採集することが出来る。

體長四耗内外。本州・四國・九州・朝鮮・臺灣等に産する。

93 クロテングスケバ (第二〇圖版9)

學名 *Saigona ishidae* Mats.

てんぐすけば科

體は黒褐色、頭部は長く出て居る。翅は透明で、翅



脈と縁紋せんもん（翅の前縁まへへりの端近くにある紋）は黒褐色こくかつしよくである。

體長一四耗内外。北海道・本州等の山地に産する稀な種類である。

94 テングスケバ（第二〇圖版10）

學名 *Dictyophara patruelis* Stål

てんぐすけば科

體は黄綠色、橙色だいだいいろの縦條じよじよがあり、頭部は長ながく前方へ突出とつしゆつして居る。翅は透明、翅脈しみやくは淡綠色、翅の先の方は暗褐色を帯おび、縁紋せんもんも同様の色である。

體長十三耗内外。本州・四國・九州・朝鮮・臺灣等に産し、禾本科植物の草原くさばらで採集さいしゆ出来る。

95 ナカノテングスケバ（第二〇圖版11）

學名 *Dictyophara nakanoensis* Mats.

てんぐすけば科

前種に似て居るが大形おほがたで、頭部は一層長ちやうく太い。體はテングスケバより黄色きいろ味強あじつよく、翅は透明とうめいで翅脈は黄緑褐色、縁紋は大きく褐色である。

體長たいちやう十八耗内外。本州・滿洲等に産する。これは東京附近で桑くわを害がいすると云ふ。



96 ツマゲロスケバ (第二〇圖版8)

學名 *Udugama splendens* Germ.

てんぐすけば科

體は暗褐色、頭部は僅か前方に出て居り、頭部に  
黒褐色の斑紋がある。翅は少しく褐色を帯びて居る  
が透明、先の方に暗褐色の紋がある。

體長一四耗内外、本州・四國・九州・朝鮮・臺灣・  
インド等に産し、禾本科植物の草原で採集出来る。

97 キガシラヒシウカ (第二〇圖版4)

學名 *Kuvera flaviceps* Mats.

ひしうんか科

體は黒色、頭部と前胸背とは黄褐色である。翅は  
黄色を帯び透明、先の方は少しく暗色を帯びて居る  
翅脈は淡黄色であるが細い黒點を連ね、點線の様  
なつて居る。體の裏面は黒色、肢は黄色である。

體長六耗半内外、北海道・本州・九州等に産する。

98 ヨスチヒシウカ (第二〇圖版3)

學名 *Otiarus quadricinctus* Mats.

ひしうんか科

體は黒色、頭部の周圍(出張つて居る處)は黄褐



色、前胸背は黄褐色で、稜状部の中央には五本の出張つた縦條がある。前翅は白色半透明、黒褐色の四個の横帯がある。翅は黄色であるが、黒褐色の細かい點がある。體の裏面及び肢は黒褐色である。

體長六耗内外、本州・九州・滿洲等に産する。

99 ヒシウんカ (第二〇圖版2)

學名 *Otiarus apicalis* Uh1.

ひしうんか科

體は黒褐色又は淡褐色、頭の兩側と前胸背とは黄褐色、稜状部は雄では黒色であるが雌は多く淡褐色

である。前翅は淡褐色で半透明、雄の翅の先は暗褐色、雌では一様に淡褐色である。

體長七耗内外。本州・九州等に産し、稻を害する。

100 オホヒシウんカ (第二〇圖版6)

學名 *Otiarus subnubilis* Uh1.

ひしうんか科

ヒシウんカ中最も大形の種類である。體は暗褐色頭部は黒色で、周圍の出張つた部分は黄色、稜状部には二本の幅廣い褐色の縦紋がある。翅は透明、翅脈は黒色、縁紋は黒褐色であるが、中には前翅に黒



點を有するものがある。

體長一三耗内外。本州・九州等に産する。これは  
樫、クヌギ等の幹で採集出来るが尠い。

101 タテスチウンカ (第二〇圖版1)

學名 *Catallia vitata* Mats.

ぐんばいうんか科

體は淡綠色、複眼は黒色、稜状部の中央に褐色の  
縦紋がある。前翅は淡綠色を帯び半透明、暗褐色の  
縦線がある。體の裏面及び肢は一樣に淡綠色である。  
體長九耗内外。本州・九州・屋久島等に産し、夏

の終頃ス、キに多い。

102 ナガダンバイウンカ (第二〇圖版7)

學名 *Ossoides lineatus* Bierman.

ぐんばいうんか科

體は平たくて細長い。總體に綠色を帯び、頭部は  
長く前方に出て居る。頭部から前胸背へかけて二本  
の朱色の縦線があるが、中にはその不明瞭のもの  
もある。前翅は淡綠色で半透明、先の方は無色で翅  
脈だけ綠色である。

體長一〇耗内外。本州・九州・屋久島・臺灣・南支



那・ジャヴァ等に産し、ス、キに棲むが餘り多くな  
い。

103 ダンバイウンカ (第二〇圖版5)

學名 *Eporia onukia* Mats.

ぐんばいうんか科

體は淡綠色 (標本にしてから黄褐色になることが  
ある)、少しく平たく、翅も淡綠色で、先の方は前種  
同様殆ど無色、その部分の翅脈は網の様になつて居  
る。

體長七耗内外。本州・四國・九州・臺灣等に産し、

柑橘 (ミカンの類)、イチヂク等の植物に寄生すると  
云ふ。

104 コブウンカ (第二二圖版7)

學名 *Tropidocephala brunneipennis* Sign.

うんか科

體は黄綠色、頭部から稜状部の後端にかけて二條  
の黒線が走つて居る頭部は細く前方に突出し、胸部  
の兩側は黒色である。前翅は黒褐色で不透明、先の  
方に透明の斑紋を有し、瘤の様に出張つた處がある。

體長三耗半。本州・九州・臺灣・馬來半島・ニュー



ギニア・オーストラリア・マダガスカル・アフリカ等に産する。

105 ホソミドリウンカ (第二二圖版1)

學名 *Saccharosydne procerus* Mats.

ウンカ科

體は細長く、總體に淡綠色、頭部は細く突き出て居る。複眼と單眼とは黒色。前翅は細長くて半透明、少しく黄色味を帯び翅脈は淡綠色である。

體長六耗内外。本州・九州・朝鮮・臺灣等に産し、マコモに寄生する。

106 セジロウンカ (第二二圖版2)

學名 *Syoota furcifera* Horv.

ウンカ科

體は黄白色、複眼は黒色、稜状部の兩側は大きく黒色で、それが爲中央に黄白色の大紋が現はれる。前翅は先の方少しく暗色で、疊んだ時に合せ目の中央に黒紋が現はれる

體長四耗内外。北海道・本州・四國・九州・琉球・朝鮮・臺灣・南ヨーロッパ・シベリア・セイロン・印度・支那等に産し、稻の害虫である。夏の夜電燈に



多数飛んで来る。

107 トビイロウンカ (第二三圖版5)

學名 *Nilaparvata oryzae* Mats.

ウンカ科

體は暗褐色、翅は褐色で半透明、複眼は黒色である。本種は有名な稲の害虫で、稻田に普通である。

體長五粒内外。本州・四國・九州・朝鮮・滿洲等に産する。

108 テラウチウンカ (第二三圖版3)

學名 *Terachiana singularis* Mats.

ウンカ科

頭部はテングスケバの様に細長く前方に突出して居る。體は淡黄褐色、前翅は同様の色で半透明、普通は斑紋が無いが、時として數個の黒褐紋のあるものもある。

體長六粒内外。本州・朝鮮等に産する。本州では

現在東京市(秋晚く郊外の雑草中に普通)、神奈川縣、新潟縣等から知られて居るだけであるが、他の地方にも居ること、思はれる。これに似て體や翅の黒い



ものをクロバネテラウチウンカ *Terachiana nigripennis* Kato と云ふ。

109 ヨシウンカ (第二三圖版6)

學名 *Stenocranus japonicus* Mats.

うんか科

此のウンカの雄は翅が他のウンカ同様長いが、雌には長いものと短かいものとある。寫眞は短かい翅の方である。體は總體に淡綠色であるが、標本にすれば黄褐色に變る。前翅は厚く、周圍は黄色。翅の後方に露はれて居る腹部は暗綠色で、各關節の後縁

は黄色い。

體長四耗内外。本州・九州等に産し、蘆の生えて居る處に多い。

110 イボイボウンカ (第二三圖版8)

學名 *Dicranotropis granulipennis* Mats.

うんか科

體は圓形で總體に鼠色。前翅は厚く同様に鼠色で甲蟲の翅の様に椀形である。翅の先は殆ど腹部の先に達して居り、翅脈には疣の様な突起がある。

體長四耗内外。本州に産し、雜草の根際を探せば



見つかるが少い種類である。

111 シマウнка (第二一圖版9)

學名 *Nishia atrovenosa* Leth.

しまうんか科

體は淡い褐色、頭部の中央は大きく刳られて居る。前翅は大形で乳白色、不透明、翅脈の部分は、暗色である。後翅は乳白色で半透明、體の裏面、肢等は黒褐色である。體の裏面には白い粉(蠟質物)をつけて居るものが多い。

體長四耗内外、本州・四國・九州・朝鮮・琉球・臺

灣其他ジャヴァ・インド・アフリカ・オーストラリア等に産する。これは水田の附近の草に多い。

112 ナワコガシラウнка (第二一圖版6)

學名 *Rhotala nawaae* Mats.

こがしらうんか科

大形のウンカで體は平たい。體は淡黄褐色、複眼は黒褐色。前胸背は幅廣く、兩側は暗褐色で、中央部の前端は頭部の上へ出張つて居る。前翅は大きく淡黄褐色で不透明、不規則な暗色の紋がある。後翅は暗色で半透明である。



體長一〇耗内外 (寫眞は翅を擴げてあるが、疊んだ時の長さである)。本州中部の山に産する。

113 ウチハコガシラウンカ (第二三圖版10)

學名 *Catomidia sobrina* Uhl.

こがしらうんか科

ウチハの様な形のウンカである。體は一樣に黄褐色で、複眼は暗褐色、前胸背は横に長いが甚だ細い。翅は大形で黄褐色、全面に暗色の斑紋がある。體の裏面及び肢は黄褐色である。

體長一〇耗内外。これも本州の山地に産するが餘

り多くない種類である。

114 スチコガシラウンカ (第二三圖版4)

學名 *Rhotala vitata* Mats.

こがしらうんか科

體は淡い褐色、頭部は前方に尖り、前胸背の中央部は長く前方に延びて頭頂にかぶさつて居る。前翅は黄褐色で、翅の中央に黒褐色の縦紋がある。(體長九耗内外。本州に産し、山地の檜の様な植物で採集出来る。)

115 アカフハネナガウンカ (第二二圖版10)



學名

*Epoticerus flexuosus* Uhl.

はねながうんか科

體は淡黄白色、紅色の斑紋がある。頭部は背面から見ると幅が狭いが側面は幅が広い。前翅は白色で細長く紅色の斑紋がある。後翅は乳白色半透明である。

體長一〇耗内外。北海道・本州・九州等の山地に産する。寫眞は翅を立てた形で、側面から見たもの。

116 マヘグロハネナガウンカ (第二二圖版7)

學名

*Zoraida pterophoroides* West.

はねながうんか科

體は黄褐色、白粉を被ることが多い。腹部は短かく、頭端から腹の先まで六耗内外である。翅は非常に長く、透明で、前翅の前縁は黒褐色であるが、その部分は先の方にゆくに從つて幅狭くなつて居る。體長翅の先まで一七耗内外、翅を擴げた長さ三〇耗程。本州・九州・臺灣・インド・ビルマ等に産するが少い。

117 シリアカハネナガウンカ (第二二圖版8)

學名

*Zoraida horishana* Mats.



はねながうんか科

體は暗褐色、頭部は黄色、腹の先は赤褐色を帯びて居る。前翅は透明、前縁は幅廣く黒褐色を帯び、翅脈も黒褐色であるが、前縁の黒褐色の部分だけは翅脈が赤色である。

體長六耗、翅の先まで一四耗内外、翅を擴げるとその長さ二十六耗内外ある。本州・臺灣等に産する

118 アカハネナガウんカ (第四圖版1)

學名 *Diostrombus politus* Uhl.

はねながうんか科

體は圓形朱黄色で光澤がある。複眼は暗褐色。肢體の裏面等も朱黄色、腹の後端兩側に長い突起がある。翅は少しく黄色を帯びて居るが透明、翅脈は暗褐色である前翅は甚だ長いが後翅は非常に小さい。

體長翅の先まで一〇耗、腹の先まで四耗内外。本州・九州・臺灣等に産し、東京附近ではス、キの様な植物に棲むが少い。

119 マルウんカ (第二二圖版13)

學名 *Gergithus variabilis* Butl.

まるうんか科



體は圓形で、甲蟲のテントウムシと非常によく似た形をして居るので間違ふ人が多い。體の色は變化が多いが、大體に暗褐色で、前翅上に淡綠色の斑紋がある。然し中には全く斑紋の無いものもある。

體長六耗内外。本州・四國・九州・臺灣等に産し、山地でクサギの如き植物に多く獲られる。

120 カタバビロクサビウンカ (第三三圖版9)

學名 *Issus harimensis* Mats.

まるうんか科

體は平たく、翅は厚く短かくて幅が広い。體は暗

褐色で幾分青味を帯び、前翅の中央に不明瞭な灰白色の帯がある。

體長八耗内外、本州に産し、關西地方で獲られるが尠い種類である。

121 クサビウンカ (第三三圖版12)

學名 *Sarima amagisima* Mats.

まるうんか科

體は暗褐色、大體前種に類似して居るが長形である。頭部は幅廣く、複眼は暗褐色、前翅は前種よりも細形で黄褐色、不明瞭な濃淡がある。



體長七耗内外。本州・九州等の山地に産し、穀斗科植物に棲む。

122 ベツコウハゴロモ (第四圖版4及び第二一版圖12)

學名 *Ricania japonica* Melich.

べつこうはごろも科

體は暗褐色、頭部は幅廣く、腹部は淡褐色である。前翅は蝶の翅の様な形をして居り、美しい半透明の暗褐色、二本の無色の帯がある。後翅は淡い暗褐色で半透明、二個の無色紋がある。

本種には前翅の黒褐色を帯びて斑紋の無いもの

(第二一圖版1)と、色の非常に淡いもの(同圖版2)とがある。

體長(腹の先まで)七耗内外、前翅の開張二四耗内外。本州・四國・九州・琉球等に産し、種種な植物で獲られる。

123 ヒメベツコウハゴロモ (第三三圖版5)

學名 *Ricania taeniata* Stål.

べつこうはごろも科

前種に似て非常に小さい。體は黒褐色、前翅は淡い暗褐色で半透明、中央にある一本の帯と外縁は濃



い暗褐色である。

體長腹の先まで四耗、前翅の開張一二耗内外ある。本州・臺灣に産し、外國ではフィリッピン・馬來群島・インドにも産し、禾本科植物で獲られるが尠い。

124 アミガサハゴロモ (第二二圖版3)

學名 *Pochazia albomaculata* Uhl.

べつこうはごろも科

體は黑色、腹部は暗褐色。前翅は黒褐色で不透明前縁に一個の白紋がある。後翅は暗色で半透明。

體長腹部まで九耗、前翅の開張二五耗内外ある。

本州・四國・九州等に産し、京都附近で桃の樹に多數獲られる。これは生きて居る時に體や翅に緑色の粉をつけて居るが、捕へれば落ちてしまふものである。

125 スケバハゴロモ (第二二圖版4)

學名 *Furicaria fascialis* Walk.

べつこうはごろも科

體は光澤のある黑色。翅は全く透明、翅脈は黒色で、前後翅共周圍は黒褐色である。前翅の前縁には一個の黄褐紋がある。又前翅の中程にも淡い暗色紋

124 アミガサハゴロモ



がある。

體長腹の先まで六耗内外、前翅の開張一八耗内外。  
本州・九州・支那等に産する。

126 アラバハゴロモ (第四圖版2)

學名 *Geisla distinctissima* Walk.

あをばはごろも科

體は淡黄綠色、前翅は幅廣く同様の色彩であるが  
側縁と後縁とは橙褐色を帯びて居る。後翅は青味を  
帯びた白色で不透明、體の總體に白い粉をつけて居  
る。

體長腹端迄六耗内外、翅の先まで十耗内外。前翅  
の開張二十耗内外。本州・四國・九州・流球・臺灣・  
滿洲等に産し、主として灌木に多い。

127 トビイロハゴロモ (第三圖版11)

學名 *Mimophantia maritima* Mats.

あをばはごろも科

體と前翅とは一樣に藁色。前翅は厚く、幅廣くて  
翅の先は鋭く尖つて居る。後翅は乳白色、半透明で  
ある。

體長五耗半内外。本州・四國・九州・臺灣等に産



し、禾本科植物に獲られるが尠い方である。

128 グミキジラミ (第二三圖版17)

學名 *Psylla daeagnii* Kuway.

きじらみ科

體は黄綠色又は黄褐色、胸部の背面に褐色紋がある。前翅は少しく黄色を帯び透明、後縁から側縁にかけて五個の黒褐紋がある。

體長四耗内外。北海道・本州・九州等に産し、グミの葉裏に寄生する。

129 ベニキジラミ (第二三圖版18)

きじらみ科

體は一樣に美しい朱紅色、斑紋は無い。前翅は少しく黄色いが透明である。

體長三耗内外。アケビに多く、北海道・本州・九州等に産する。

130 ネグロキジラミ (第二三圖版19)

學名 *Trichohermes bicolor* Kuway.

きじらみ科

體は黒褐色で、灰白色の毛を密生して居る。翅は透明、前翅の先は尖り、基部は黒色である。





體長四耗内外。本州・九州・臺灣等に産する。

131 クリオホアブラムシ (第二三圖版15・16)

學名 *Pterochlorus tropicalis* van der Goot

あぶらむし科

大形のアブラムシである。體は黒色、翅のあるも

のでは翅は前後共黒褐色、不透明で、白紋がある。

體長腹端迄四耗内外。北海道・本州・四國・九州・

朝鮮・オーストラリア等に産し、櫛、櫟、栗等の皮

に眞黒に群集して居る。寫眞の15は翅の無い雌、16

は翅のある雄である。

132 オホワタムシ (第二三圖版14)

學名 *Prociophilus bumeriae* Schrank

あぶらむし科

體は灰黒色、一面に白い綿の様な臘をつけて居る

翅は少しく暗色を帯び、翅脈は暗褐色。

體長腹の先まで二耗内外。北海道・本州・四國・

九州・ヨーロッパ等に産し、秋の終り頃街を飛び廻は

る。オホワタ、雪蟲等と呼ばれるのはこれである。

133 チサノヒゲナガアブラムシ (第二三圖版)

學名 *Macrosiphum formosanum* Takah.



あぶらむし科

體は赤色、背面に太い一本の黒色横帯がある。觸角は褐色で長い。

體長二耗内外。本州・四國・九州・臺灣等に産し、ノグシ・チサ等の葉裏、莖等に群棲する。寫眞はノグシの葉裏に寄生して居るもので、小さいものは胎生の仔蟲である。

134 ヤスシハカマカヒガラムシ (第二四圖版1)

學名 *Orthezia yasushii* Kuwana

かひがらむし科

雌の體は暗褐色、橢圓形で白色の紋をつけて居る。ヨモギに寄生し、自在に歩行する。

體長三耗内外。本州・九州等に産する。

135 カシノモノフレバス (第二四圖版2,3)

學名 *Monophlebus corpulentus* Kuwana

かひがらむし科

雌は大形で楕圓形、凸凹と横皺 (腹部の關節) とが多い。總體に暗赤色で、白い紋をつけて居る。體長一〇耗位になる。

雄は小形で體も細く、同様暗赤色であるが、黒褐





色の不透明の翅を持ち、體長四耗内外ある。

これは春の頃カシの木の皮面に多く見られる。

136 ヒモワタカヒガラムシ (第二四圖版4)

學名 *Takahashia japonica* Coek.

かひがらむし科

雌の體は楕圓形で背面は膨れて居り、淡黄褐色、

暗褐色の小紋と、中央に橙赤色の縦紋とがある。發

育したものは、白い臘を出してはその中へ卵を産み

つけて行き、臘は長い紐の様になる。寫眞は臘を出

したもので、その一端について居る黒い部分が體で

ある。

これは本州・四國・九州・支那等に産し、萩、ネム  
ノキ、桑等に寄生する。

137 ナシノマルカヒガラムシ (第二四圖版5)

學名 *Aspidiotus perniciosus* Comst.

かひがらむし科

サンホーゼカヒガラムシとも云ふ。有名な果樹の

害虫である。雌の體は圓形で中央は少しく高くなつ

て居る。介殼は灰白色で直徑二耗内外ある。

殆ど全世界に産し、柳、梅、梨等に寄生して非常



な害をあたへる。

138 オホタマカヒガラムシ (第二四圖版6)

學名 *Kermes vastus* Kuwana

かひがらむし科

雌の體は球形で黄褐色、光澤があり、背面に暗褐色の斑紋があり柔かなので、丁度蜘蛛の腹部の様に見える。

直經八耗内外。本州に産し、春先クヌギに多い。

139 ツノロウムシ (第二四圖版7)

學名 *Ceroplastes ceriferus* Anders.

雌の體は白色の臘で被はれ、大體龜の甲の如き形をして居る。背面の中央部は少しく尖り、後の方に向く角の様な形になつて居るが、これは古くなれば判らなくなるものが多い。直經八耗位、全世界に産し、種々な植物に普通である。

少年昆蟲圖譜 第三卷終





6  
1

索引

索引

あ

- アカフハネナガウンカ..... 166  
アヲヅキンヨコバイ..... 128  
アヲバハゴロモ..... 177  
アカエゾゼミ..... 49  
アカハネナガウンカ..... 169  
アミガサハゴロモ..... 175  
アブラゼミ..... 42  
アミメヨコバイ..... 124

い

- イチモンヂヨコバイ..... 117  
イナヅマヨコバイ..... 119



63  
6

索引

オホアワフキ.....84  
 オホタマカヒガラムシ..... 187  
 オホトガリヨコバイ..... 125  
 オホヒシウンカ..... 142  
 オホヨコバイ..... 102  
 オホワタムシ..... 182  
 ヲグマブチミヤクヨコバイ..... 108

か

カタビロクサビウンカ..... 171

き

キガシラビシウンカ..... 139  
 キスヂカンムリヨコバイ..... 105

く

索引

イネマダラヨコバイ..... 115  
 イボイボウンカ..... 162  
 イボタマルツノゼミ.....73

う

ウスブチミヤクヨコバイ..... 108  
 ウチハコガシラウンカ..... 165

え

エゾゼミ.....46  
 エゾハルゼミ.....56

お、を

オカダアワフキ.....95  
 オビマルツノゼミ.....74  
 オビヒメヨコバイ..... 135



こ

コガシラアワフキ.....78  
 コエブゼミ..... 44  
 コブウンカ..... 146  
 コミミツク.....99  
 コミヤマアワフキ.....92

さ

サウウンアワフキ.....96  
 サジョコバイ..... 109

し

シダヒロヅヨコバイ..... 133  
 シマウンカ..... 163  
 シマサジョコバイ..... 112

クサビウンカ..... 172  
 クサビヨコバイ..... 123  
 クハキヨコバイ..... 103  
 クマゼミ.....51  
 グミキジラミ..... 179  
 クリオホアブラムシ..... 181  
 クロサジョコバイ..... 111  
 クロスヂアワフキ.....90  
 クロスヂホソアワフキ..... 80  
 クロスヂヒロヨコバイ..... 117  
 クロヒラタヨコバイ..... 107  
 クロフアワフキ.....80  
 グンバイウンカ..... 145





タケウチトゲアワフキ.....76  
タテスヂウンカ..... 143

ち

チサノヒゲナガアブラムシ..... 182  
チツチゼミ.....65

つ

ツキンヨコバイ..... 131  
ツクツクボウシ.....61  
ツノゼミ.....67  
ツノロウムシ..... 187  
ツマグロスケバ..... 139  
ツマグロヨコバイ..... 114

て

シラホシスカシヨコバイ..... 119  
シリアカハネナガウンカ..... 168  
シロオピアワフキ.....81  
シロツキンヨコバイ..... 132  
シロセスジヨコバイ..... 127  
シロツオホヨコバイ..... 105

す

スケバハゴロモ..... 176  
スヂコガシラウンカ..... 166

せ

セグロアヲツキンヨコバイ..... 129  
セジロウンカ..... 158

た



に

ニイニイゼミ..... 140  
 ニトベツノゼミ..... 68

ね

ネグロキジラミ..... 180

は

ハコネマルツノゼミ..... 75  
 ハマベアワフキ..... 86  
 ハルゼミ..... 53  
 ハンノアワフキ..... 86

ひ

ヒグラシ..... 60  
 ヒシウンカ..... 141

テラウチウンカ..... 159  
 テングスケバ..... 137  
 テングアワフキ..... 79

と

トガリヨコバイ..... 125  
 トビイロウンカ..... 159  
 トビイロツノゼミ..... 70  
 トビイロハゴロモ..... 178

な

ナガグンバイウンカ..... 144  
 ナカノテングスケバ..... 138  
 ナシノマルカヒガラムシ..... 186  
 ナワコガシラウンカ..... 164



ベツコウハゴロモ ..... 173  
 ペニキジラミ ..... 179

ほ

ホシアワフキ ..... 83  
 ホシコシミツク ..... 99  
 ホシサジヨコバイ ..... 111  
 ホソアワフキ ..... 97  
 ホソミドリウンカ ..... 147

ま

マダラアワフキ ..... 91  
 マツアワフキ ..... 87  
 マヘキアワフキ ..... 89  
 マヘジロオホヨコバイ ..... 104

ヒジモンヨコバイ ..... 121  
 ヒトツメヨコバイ ..... 122  
 ヒメアワフキ ..... 86  
 ヒメベツコウハゴロモ ..... 174  
 ヒメハルゼミ ..... 57  
 ヒメモンキアワフキ ..... 89  
 ヒモワタカヒガラムシ ..... 185  
 ヒロツマダラヨコバイ ..... 120

ふ

フクロクヨコバイ ..... 110  
 フタオビハトムネヨコバイ ..... 130  
 ブチミヤクヨコバイ ..... 108  
 ブドウアワフキ ..... 84  
 フトヨコバイ ..... 116



モンキヒロツヨコバイ..... 132

か

カシノモノフレパス..... 184

や

ヤスシハカマカヒカラムシ..... 183

ヤノウトガリヨコバイ..... 113

よ

ヨシウンカ..... 161

ヨスヂヒシウンカ..... 140

ヨツテンヨコバイ..... 113

ヨモギシロテンヨコバイ..... 106

マルアワフキ.....93

マルウンカ..... 170

マルツノゼミ.....72

み

ミスヂトガリヨコバイ..... 126

ミドリヒメヨコバイ..... 134

ミミヅク.....98

ミヤマアワフキ.....93

ミンミン.....63

む

ムネアカアワフキ.....77

も

モジツノゼミ.....69

モンキアワフキ.....88



### 「昆蟲趣味の會」入會のおすゝめ

私共は今回昆蟲愛好家の機關として「昆蟲趣味の會」を組織しました。

一、本會は年六回機關雜誌「昆蟲界」を發行し、會員に配布します。會員は研究の發表、質問、標本の交換等に雜誌を利用し、又は採集會等に參加することが出来ます。

二、會員の資格に制限はありません。小學校の生徒でも入會することが出来ます。

三、會費は年額三圓、二回に分納することも出来



ます。

四、「昆蟲界」は書店でも販賣してゐますが（頒布價額六十錢）會員にはこれを贈呈することになつて居ります。

五、會則は二錢切手を封入して左記事務所へ御申込下さい。

東京市世田谷區野澤町一丁目二五六番地

加藤正世方 昆蟲趣味の會

代表者 加藤正世

### 少年昆蟲趣味の會

今回少年諸君の爲に「少年昆蟲趣味の會」を設け研究と趣味の向上を計ることゝなりました。左の條項御覽の上御入會下さい。

一 少年昆蟲趣味の會の會員は昆蟲趣味の會で行ふ各種の事業に参加することが出来ます。

二 會費は一年五十錢。

三 會員には機關雜誌「少年昆蟲界」を贈呈します。

四 會員は「少年昆蟲界」に研究を發表すること



が出来ます。

五 昆虫趣味の會で行ふ採集會・談話會・展覽會等は「少年昆虫界」に豫告を發表しますから、會員は自由に參加することが出来ます。

六 入會希望者は左記へ御申込下さい。

東京市世田谷區野澤町一丁目二五六番地

### 昆虫趣味の會

詳細なる會則御希望の方は二錢切手を同封して御申込下さい。

昭和八年十二月二十日印刷  
昭和八年十二月二十五日發行

少年昆虫圖譜

定價金壹圓八拾錢

著者 加藤正世

發行者 四條輝雄

印刷者 高田邦夫

不許複製

發行所 四條書房

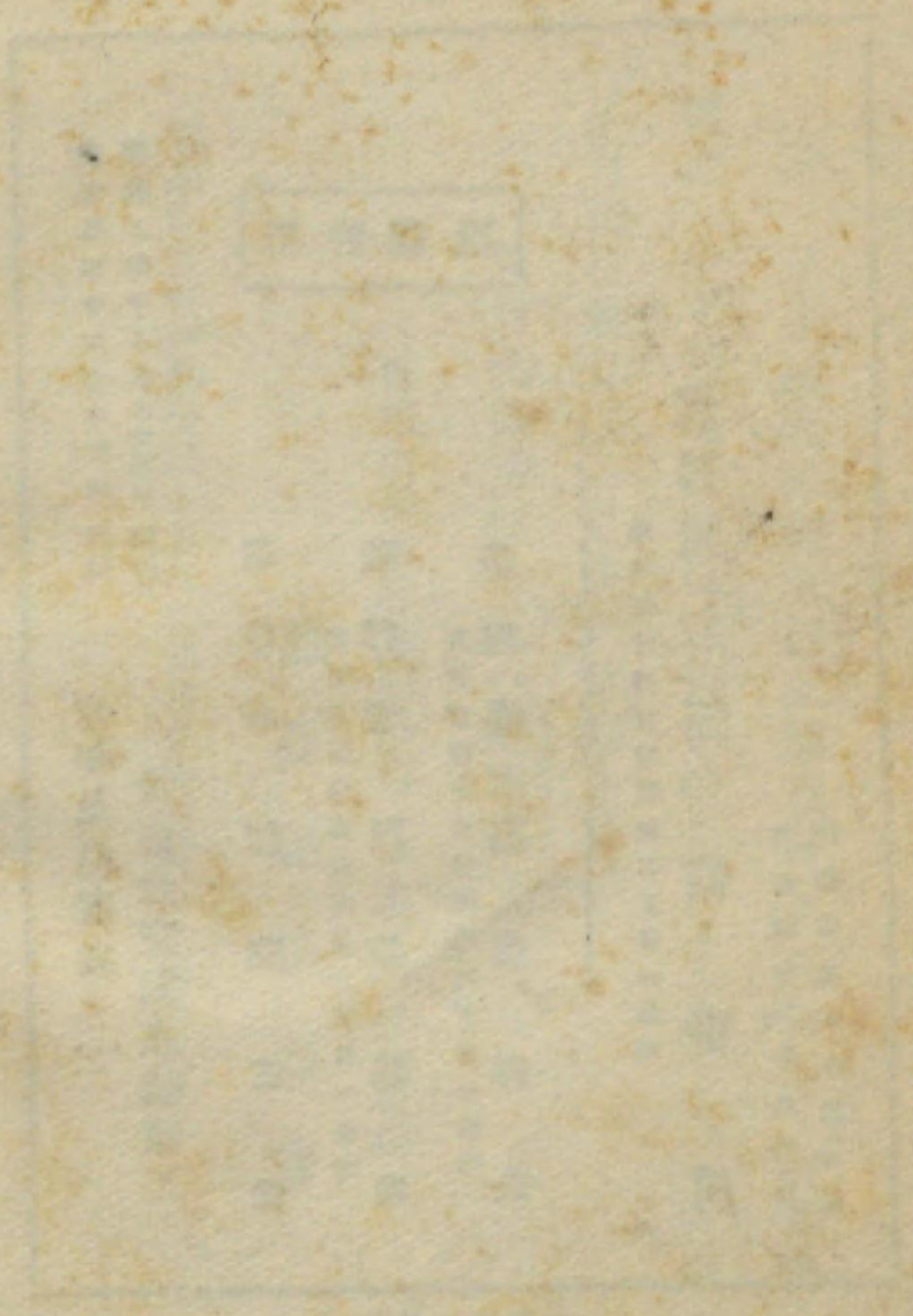
東京市神田區駿河臺二丁目一番地

電話 神田(25)三八〇番  
振替 東京一〇三八番

(編輯者 加藤)



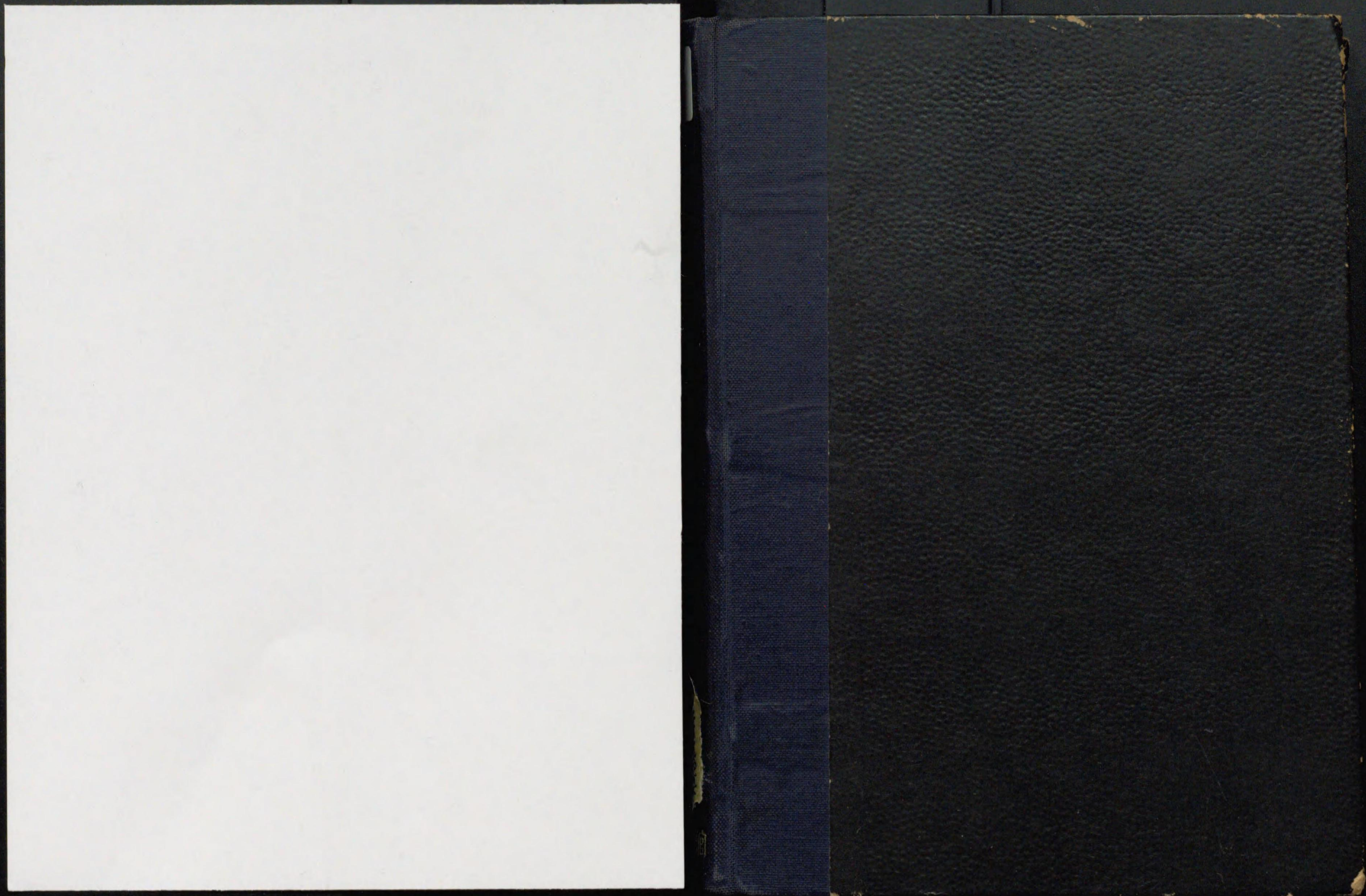
1228 B. 1. 6. 11.





630
13





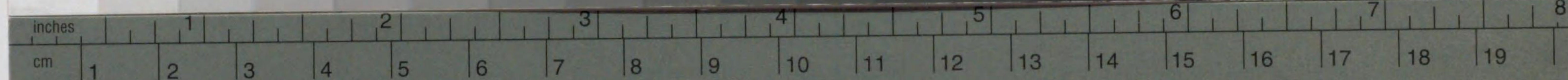


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

